

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2012-42466(P2012-42466A)

【公開日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2011-175800(P2011-175800)

【国際特許分類】

G 01 R 13/20 (2006.01)

【F I】

G 01 R	13/20	M
G 01 R	13/20	R

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月21日(2015.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被試験電気信号を受ける入力端子と、
上記被試験電気信号をデジタル化するアナログ・デジタル・コンバータと、
デジタル化した上記被試験電気信号からI(同相)及びQ(直交)ベースバンド成分情報を生成するデジタル・ダウン・コンバータと、
上記I及びQベースバンド成分情報を用いて1つ以上のIQベース時間領域トレースを生成するトレース生成部と、
1つ以上の上記IQベース時間領域トレースの特性に対応する1つ以上の測定値を生成する測定部とを具え、

1つ以上の上記IQベース時間領域トレースとして周波数対時間トレースを含み、上記測定部は上記周波数対時間トレース中の周波数ヒップの周波数を測定するように構成され、これによって、上記被試験信号の1側面として、周波数変調ヒップ・レートを決定することを特徴とする試験測定装置。

【請求項2】

上記IQベース時間領域トレースとして、位相対時間トレース及び電力対時間トレースの一方又は両方を更に含むことを特徴とする請求項1記載の試験測定装置。

【請求項3】

上記入力端子を第1入力端子とし、第2信号を受ける第2入力端子を更に具え、
上記測定部が上記第2信号と上記周波数対時間トレース間の遅延時間を測定することを特徴とする請求項1記載の試験測定装置。

【請求項4】

試験測定装置において、時間領域トレースを測定するための方法であって、
上記試験測定装置の端子において被試験電気信号を受けるステップと、
アナログ・デジタル・コンバータを用いて上記被試験電気信号をデジタル化するステップと、
デジタル化した上記被試験電気信号をダウン・コンバートしてI(同相)及びQ(直交)ベースバンド成分情報を生成するステップと、
上記I及びQベースバンド成分情報を用いて1つ以上のIQベース時間領域トレースを

生成するステップと、

1つ以上の上記IQベース時間領域トレースの複数の測定値を自動的に生成するステップとを具え、

1つ以上の上記IQベース時間領域トレースを生成するステップが、周波数対時間トレースを生成するステップを含み、

1つ以上の上記IQベース時間領域トレースの複数の上記測定値を自動的に生成するステップが、

上記周波数対時間トレース中の周波数ホップの周波数を測定することによって、周波数変調ホップ・レートを決定するステップと、

上記周波数変調ホップ・レートに対応する測定値を表示ユニット上に表示するステップとを含む測定方法。